

かるがも



第8号

発行所 千葉県こども病院
〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
TEL 043-292-2111
FAX 043-292-3815

//www.hosp.pref.chiba.jp/byouin/kodomo/

今回のかるがもは薬の飲み方について薬剤部からの案内を掲載しました。病院で薬を処方されても、

うまく飲んでくれない、嫌がって受け付けられない、などでお困りのかたもあると思います。



時間の関係で医師も薬剤師も細かなご相談にのれないこともありますので参考になさって下さい。

小児への薬の飲ませ方

こどもによっては薬をのませるのがとてもむずかしい場合があります。『いやがって薬を飲んでくれない。』『口に入れてもすぐ吐き出してしまう。』、こういうことで悩んでいるご両親は多いと思います。なかなか解決は難しいのですが、いろいろな報告からまとめた例をご紹介します。参考になれば幸いです。

1) 服用方法

まず、こどもに薬の服用が大切であることを伝えます。その上で、薬の飲ませ方を工夫します。

* 散剤の場合：指

散剤を少量の水又はぬるま湯に溶かした後、よく手洗いしたきれいな手でペー
スト状・だんご状に練ります。これを指先
にのせ、味のわかりにくい頬の内側や上

あごに塗布し、その後すぐ水やぬるま湯
などを飲ませて流し込みます。

* 水剤・散剤の場合：スプーン、スポイト
散剤は水やぬるま湯に溶き、少量ずつな
るべく口の奥（舌の先は苦味を強く感じ
ます）に流し込んで飲ませます。
最初に多めの水で溶いてしまうと、飲み
終わる前に苦味がでたり、量が多くて飲
みきれなかったりして薬を飲み残す原因
になるので注意します。

* その他

オブラート、服薬補助ゼリーに包んだり、
カプセルに入れて味を隠すことができま
す。苦い薬を甘いと‘うそ’をついて飲
ませることは、こどもからの信用を失い
かねません。

2) 味を調製する

お薬は、他のものを混ぜると薬効が変化
する場合もあるため、水や白湯で服用す
るのが原則です。しかし、こどもが飲ん
でくれないならば、薬効を変化させない
ような甘味料や食品などで味をカバーし
て服用させることも1つの方法でしょう。

* 砂糖や水あめ、シロップを加える

* 他の食品と混ぜる（1回服用分ごと
にのみきれる量）

牛乳、プリン、ゼリー、ヨーグルト、ア
イスクリューム、ジャムなど

ハチミツは、乳児ボツリヌス症の危険が
あるので、1歳未満の乳児に与えてはい

けません。

お薬によっては、酸味の強いジュースでかえって苦味が増したり、牛乳で吸収率が低下したりすることがあります。配合する場合は、薬剤師にご相談ください。

また、薬をミルクに混ぜて飲ませると、ミルクの味が変わったり薬の臭いがミルクにうつったりしてミルク嫌いの原因になりますので、母乳やミルクで服用させることは避けましょう。



3) 服用時間(主に新生児～乳児)

- * 特別な指示がない限り、授乳・食事前の空腹時に服用させます。授乳後の服用は、満腹で飲んでくれなかったり、薬を嫌がって先に飲んだミルクまで吐いてしまうことがあります。
- * 哺乳回数が多く、食事時間が決まっていない場合は、1日3回[朝・昼・晩(大体5~6時間位の間隔)]を目安とします。
- * 服用時に寝ている時は無理に起こさず、その後時間をずらして飲ませます。また、特に医師の指示がない場合は、夜間就眠時は休薬します。決して2回分まとめて服用させてはいけません。
- * 『8時間おきに1日3回服用』の指示では、朝起床後、就寝前、その中間位に1回のみです。実際にきっちり8時間おきは無理ですが、最低5時間位は間隔を空けましょう。

薬を嫌がって激しく泣くこどもに無理に飲ませると薬が気管に入ってしまうことがあるので、いったん休んで様子を見てから適切な方法を考えましょう。

4) 精神的援助

こどもとよく話し合っ、お薬の必要性を理解させて飲ませてあげてください。服用時には、毎回関わりをもち服用したくない思いや不安を聞き励まし、うまく服用できれば誉めてあげるなど、自信をつけさせることも大切です。

5) 薬と上手につきあうために

薬はその時のこどもの症状・体調・体重、また他の薬とのかねあいによって細かく量をきめて、そのこどもにあったものを作っています。必ず医師の指示を守り、飲み忘れのないようにしましょう。また、似たような症状でも兄弟、姉妹など他の人に同じ薬を使うのは絶対やめましょう。

冷所保存の指示があるものは冷蔵庫で保管し、特に指示のないものは直射日光のあたらない、涼しいところに保管するようにしてください。

薬はこどもの手の届かない所で場所をきめ、薬以外のものと区別して保管してあると安心です。

(薬剤部)

